



2013.6.30 信者全体集会

## 真の信仰

主任司祭 ボクダン・ノヴァク

「あなたがたが祈るときは、異邦人のようにくどくどと述べてはならない。異邦人は、言葉数が多ければ、聞き入れられると思いついでいる。彼らのまねをしてはならない。あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。」マタ 6・7・8

自分の望みを満たすために人間は、いろいろな手段を用いますが、その内に宗教的な仕方があります。つまり欲しいものを手に入れるために神を利用しようとしている人もいるということなのです。

イエス・キリストが教えてくださった通りに、神を信じ、真の信仰を持つことは、自分の目的のために神を利用しようとするのではなく、神が自分の必要性を誰よりもよくご存じで、自分を愛しておられるゆえにこの必要性を最も相応しいときに、最も相応しい方法によって満たしてくださいという確信を持つことなのです。このような確信を持つて、神の導きに従う意味で、自分の人生を神にゆだねる人は、神によって必ず満たされます。しかも、この人の期待や想像をはるかに超える仕方や形で、満たされるのです。

ますます多くの人々がイエス・キリストの教えを受け入れ、自分の人生をコントロールしたいとか、自分の努力によってのみ自分の望みを満たしたいというような意欲を手放して、私たちが愛しておられる父である神にすべてをゆだね、神の導きに従って生きることができるようになりますように祈りましょう。

### 平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

### 主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(at the Maria Kan Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

# 初聖体感想文

## デービット ザンゲネ茂哉

ぼくは、六月二日にはじめてごせいたいをいただきました。ぼくは、れんしゅうのときはたのしかったです。ほんばんのときはきんちようしました。

はつせいたいをいただくために、ぼくはかみさまのことをいっぱいべんきようしました。おいのりのことばをおぼえて、かみさまとおはなしができるようになりました。かみさまのことがわかるようになったけど、ごせいたいのことはよくわかりませんでした。



はじめてたべたごせいたいはかみさまのあじがしました。おいしくて、やさしいあじでした。かみさまと一つになれて、ぼくはとてもうれしかったです。

これからはまいしゅうミサに行つて、もつとかみさまと仲よくなるうと思ひます。お友だちやおとうとけんかになつたら、ぼくはかみさまとのやくそくを思い出します。かみさま、しんぶさま、リーダー、パパとママ、だーな、ありがとう。

## つじ はな

はじめてごせいたいをたべたのがびつくりしました。それからポーランドからかぞくのおばあちゃんが出てきてくれ、うれしかったです。それからおばあちゃんがいそいどれすをつくつてくれたのがうれしかったです。

## テレジア 大場 天澤沙

はつせいたいができてうれしかったです。

さいしよは、しおりをもつて、言葉をいって、ろうそくを持った時、熱かつたけど、たえてさいだんをおいて歌う時も、本を見てふつうの時は、お母さんにあけてもらつてるので、うしろの人のを見てあけていました。そのあとも、練習も1日しかな

かつたので、きんちようもしたけどがんばりました。しやしんもとつたし、パーティーにもいきました。

なによりもうれしかったのは、ごせいたいが食べれたことです。ごせいたいはふつうのおせんべいみたいな味でした。きよう会でできたお友だちは、「苦い」と言っていました。これからは、ほかの人と同じで、ごせいたいが、食べられてうれい

## トマスアキナス 額 亮一

はつせいたいをうけてうれしかったです。ぼくは神さまのことがいっぱいわかりました。これからもおいのりをいっばいして、神さまがこころから出ていかないようにします。そして、神さまみにだれにでも、やさしくするようにします。またごせいたいをいただけるのがたのしみです。

## スカウトバザー盛り上がる

6月9日 97団のバザーは大盛況に終わり、純益45万円にのぼつた。アリガトウ！  
伊藤 宗太郎

を研究したりして準備を始めた。驚いたことに、南山教会信者の方たちや近隣の方々から続々と貴重な物品の寄付が届けられて感激した。

当日は曇天だったが、蒸し暑くなくバザー日和であった。一週間前から商品整理と値札つけ、食料の買付けと調理、前日はテント張り会場設営などにスカウト、隊長、お母さんたちが大活躍。準備万端整えていざオープン！ 続々とお客さんが入場し、商品、料理、飲み物が売れ始めた。

牛井、ロコモコ井、ベトナム生・揚げ春巻き、シーフードカレー、もち米炊き込みご飯など珍しい料理が飛びように売れた。さすがに焼き鳥はインフルエンザ悪風評で売り行きがダウン。相変わらず新品コーナーには人々の行列ができ、大好評だ。

最後には、掘出し物や古着、雑貨類など半値売り、一袋詰め放題100円売りで大部分の商品が売れてしまった。大安売りのイベントを期待して残っていたお客さんたちは大きな紙袋を抱えて、「ああ！面白かつた」と満足して帰つていかけた。

毎年のスカウトバザーは資金集めと教会信者の方々や近所の人達との交流が目的だ。今年もその役目を十分に果たした。皆様のご協力とご理解に深く感謝。ゴクロウサマ！

自己紹介

助任司祭トウ・ダン・フック



ベトナム出身のトウ・ダン・フックと言います。霊名はフランススシスコ・ザビエルです。日本の慣習に従って日本語の学校などでは、名字を使ってわたしを「トウさん」と呼ぶ友達、先生もいらつしやいます

が、通常では、フック (Phuc) と呼ばれています。来日の時に、外国の出身の先輩の神言会会員に「いつ頃日本に来ましたか」と聞いてみたら、ある会員は十年、ある会員はもう数十年、ある会員は十分前から、はっきりと覚えられないと答えました。年数を言わずに、君がまだ生まれて来なかった時に日本に来ましたよ、と冗談しながら答えた会員もいました。正直に言えば、日本にいる先輩会員の年数の多さに驚きました。しかし、今になって昨日のようですが、自分は来日してから間もなく八年になります。

この八年という数字を考える今、まだ短いか、あるいはもう十分長いかと言うよりも、長い間に、わたしを大切に育ってくださった日本教会の皆さん、特に、神言会日本管区、そして何よりもこのわたしを日本に呼んでくださった神様に感謝いたします。お蔭様で、2013年3月16日に司祭叙階の恵みを頂きました。続いて、日本管区に任命され、そして皆さんもご存知のように七月から、この南山教会に助任司祭として派遣されました。これから、主任司祭、助任司祭たち、そして教会の皆さんと協力しながら信仰生活を送って参りたいと思っております。どうぞ、宜しくお願いいたします。

自己紹介

助任司祭デュマス マーティン アクエテー



私はDumas Martin Akweley (デュマス マーティン アクエテー)と申します。通常呼び方は マーティンです。西アフリカのガーナから来ました。1977年1月11日にガーナのアゴマニヤという町で生まれました。

2010年8月7日、ガーナのアクラで司祭叙階されて、そして一年間ぐらいその教会で働きました。2011年7月6日日本に来日しました。来日してから名古屋の栄のYWCAという所で5週間日本語を勉強し始め。2011年9月から2013年5月まで南山大学国際科で日本語を勉強しました。今まで歩んで来た道を振り返ると、必ずしも楽ではなかった。日本語の勉強、日本の季節と生活などになれるのは、大変ですが確かに楽しい時もありましたが、つらいこともたくさんありました。けれども、良い経験して、色々なことを習いました。

まだ分からないこともたくさんあるのでも、これから南山教会の皆様の祈りと教えることを喜んでお待ちしております。これから私も皆さんの幸福と繁栄を心から祈ります。



新刊のお知らせ！

ボグダン神父 (ボグスワフ・ノヴァク) の本が出版されました。

題名: 「真の愛への道」人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

出版社: 聖母の騎士社 (聖母文庫 0273)

価格: 500円+税

お求め先: カトリック南山教会の売店、または、聖母の騎士社 ([www.seibonokishi-sha.or.jp](http://www.seibonokishi-sha.or.jp))

宜しく申し上げます。



# 使徒信条の解説



B・ノヴァク神父

## 聖なる普遍の教会、聖徒の交わり

多くの人は、教会を考える場合、その人間的な側面、つまり教皇、司教、司祭と信徒のこと、つまり教会の組織、または、教会の建物という表面だけを思い浮かべるのではないかと思います。「しかし聖書が示す教会は、かつては神のなかに隠されていたが、いまやあらわにされ、しかも部分的には既に実現している一つの神秘的事実をさす。」（聖書思想事典271頁）ですから、教会のことを知るために、まずこの世界に関する神の計画を知る必要があると思えます。

宇宙万物の創造主である神は、世界のために計画を持っておられるとは、世界が偶然にできたものではなく、ある目的のためにできたものとして、意義のあるものであるということになります。この計画は、神の自己啓示の過程において少しずつ現されたもので、イエス・キリストによって完全に現されたのです（エフェ1・9・ロマ16・25）。イエスは、世界全体、特に人間に対する神の望

みをご自分の言葉と行いによって知らせてくださいました。次のイエスの言葉がそれを特に美しく表わしていると思えます。「エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、自分に遣わされた人々を石で打ち殺す者よ、めん鳥が雛を羽の下に集めるように、わたしはお前の子らを何度集めようとしたことか。だが、お前たちは応じようとしなかった。」（マタ23・37）イエス・キリストによる啓示に基づいて聖パウロは、神の計画を次の言葉を以て描いています。「こうして、時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。天にあるものも地にあるものもキリストのもとに一つにまとめられるのです。キリストにおいてわたしたちは、御心のままにすべてのことを行われる方の御計画によって前もって定められ、約束されたものの相続者とされました。それは、以前からキリストに希望を置いていたわたしたちが、神の栄光をたたえるためです。」（エフェ1・10・12）要するに、神はすべてを一つに集めることを望んでおられるという事です。キリストが宣べ

伝え、実現してくださった「神の国」というのは、神における人類の一致、つまり神の計画の完成なのです。

神は、ご自分の計画を実現されるために世の初めから働いておられますが、イスラエルの歴史における神の働きは、特に重要な段階となつていきます。旧約時代の一番中心の出来事とは、シナイ山で結ばれた契約であります。この契約によって、イスラエル人たちは、主である神を自分の神として認め、神は、イスラエル人をご自分の民にしてくださいました。言換えれば、イスラエルは神と契約を結ぶことによって、神の民となったのです（申26・16・19）。こうして、神はイスラエル人の間で働かれることによって、救い主の到来を準備されたとともに、教会の誕生をも準備されたのです。

イエス・キリストが来られた時の世界の現状を聖マタイは、次のように描いています。「イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病氣や患いをいやされた。また、群衆が飼いの羊のいな羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。」（マタ9・35・36）このよう

者を準備していただきました（マタ10・1・マタ16・18）。確かに、イエスの個人的な魅力、イエスの教えと行いは、人々を集める大きな力で行ったが、イエスは、ご自分の十字架の死において人々を集める最も大きな力を見出し、集めた。

「わたしは地上から上げられると引き寄せよう。」（ヨハ12・32）キリストの十字架の死がもたらした実りについて、聖パウロは、次のように語ります。「十字架を通して、両者をつつの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。キリストはおいでになり、遠く離れているあなたも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられた。それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。」（エフェ2・16・21）

聖パウロが語っている通りに、イエス・キリストはご自分で集めた人々を神と和解させることに

よって、この人たちを神と結ばれたのですが、それだけではなく、彼らを互いに神の命と愛である聖霊という深い絆によって結ばれたのです。そのために、この人たちは神の新しい民、神を父とする霊的な家族となったわけです。

確かにイエス・キリストは、教会である神の新しい民を集めてくださいましたが、教会が誕生したのは、イエスの弟子たちが聖霊を受けたとき、つまり聖霊降臨の日なのです。創造のときに、神は、土から人を形づくり、「その鼻に命の息を吹き入れられ」（創2・7）てから、人間は生きる者となったように、イエス・キリストが神の新しい民、教会として集めてくださった人々の上に、聖霊が下ってから、教会が生きるようになります。この日に起こった奇跡、つまり聖霊が与えてくださった最初のしるし（使2・1・12）が生まれたばかりの教会の使命を表わしています。その時、聖霊を受けた弟子たちは自分たちの母国語であったアラマイ語で話しましたが、五旬祭のためにいろいろな国からエルサレムに来た人々は、この話しを自分たちの言葉で聞いていました。このしるしの意味を理解するためにバベルの塔の物語（創世記11・1・9）を思い起こす必要があります。元々同じ言葉で語った人々は、高い塔を建てて天

に入ろうとした、つまり、神を無視して自分たちの努力によって最高の幸福を手に入れようとした結果、互いの言葉が分からなくなつた、協力することができなくなつたという物語です。この物語が教えているのは、人間が犯す罪は人々の繋がりを破り、分裂を起こす、つまり聖マタイが描いているように「飼い主のいない羊」のような状態の最終的な原因となるということです。聖霊降臨の日と正反対のことを現しています。つまり、教会の中で、また、教会を通過して働いてくださる聖霊は、元々関係のない人々を互いに繋げ、一つの神の家族にしてくださいというのです。ようするに、聖霊によって生かされ、導かれる教会の存在の目的、またその意義とは、イエス・キリストから与えられた使命、「神の国が近づいた」という和解の福音の宣べ伝え（マコ3・13・15、マタ10・5・7、2コリ5・18・19）、すべての民をイエスの弟子にする（マタ28・18・20）という使命を果たすことによつて、人々を神のもとに導き、神の民を發展させることであるのです。

教会の使命は、教会に属するすべての人の使命です。神の新しい民、つまり教会の一員になる目的とは、キリストと共に、ま

た、同じ神の家族の一員となった兄弟、姉妹との交わりの内に生き、共に神を礼拝することだけではなく、自分の言葉、特に自分の生き方によつて、キリストを証し、福音を宣べ伝えるということなのです。この使命を果たすために信仰と洗礼によつて神の民に加わる人は、誰でも「祭司、預言者、王」という三つのキリストの職務にあずかるようになります（1・ペト2・9・10）。キリスト者は、「祭司」として神の子に聖別され、神の仲介者となります。「預言者」として使徒から受け継いだ信仰を証し、「王」として、人々に奉仕することによつてキリストの救いのわざを世の中で実現していくのです。

教会の神秘、また、その本質と存在の意義を表すために、新約聖書の中で、多くの象徴が使われています。すなわち、羊の囲い（一コリ3・9）、キリストは入り口（ヨハ1・10）、良い羊飼いであるキリストに守られている羊の群れ（ヨハ10・11・15）、耕作もしくは神の畑（二コリ3・9・マタ21・33・43）、ぶどうの木であるキリストに繋がっているぶどうの木（ヨハ15・1・5）、捨てられたキリストがすみの親石となつた神の建築、神の家族が住む神の家、神殿（一コリ3・9・マタ21・42・二コリ3・11・エフエ2・19・20

黙示12・7・21・1・2）、花婿であるキリストの花嫁、キリストの体（エフエ5・21・32）、「上にあるエルサレム」、「わたしたちの母」（ガラ4・26）などです。この象徴の理解を深めることによつて、一人ひとりのキリスト者は教会のこと、また教会の一員である自分自身のことをより深く理解することができるようになります。

カトリック教会のカテキズムは、教会を神の計画の完成の道と救いの秘跡と呼んで、教会に関する私たちの信仰を次のようにまとめています。「教会はキリストにおけるいわば秘跡、すなわち神との親密な交わりと全人類一致のしるしであり道具です」。人間と神との親しい交わりの秘跡であることと、これが教会の第一の目的なのです。人間同士の交わりは神との一致に根ざすものなので、教会はまた、人類一致の秘跡でもありません。教会において、この一致はすでに始まっています。「あらゆる国民、種族、民族、ことばの違う民」（黙示録7・9）から人々を集めているからです。と同時に、教会は、将来やつてくるはずのこの一致が完全に実現した姿の「しるしであり、道具」でもありません。（カトリック教会のカテキズム7・75）

## 典礼奉仕者全体集会

典礼委員長 新内飛鳥

2013年6月16日 典礼奉仕者全体集会が開催されました。例年より少ないものの30名を超える参加者でした。内容については、集会を実行してくださった典礼奉仕者代表の笠原さんから別途、報告の予定です。事前に寄せていただいた意見や質問に典礼委員会の見解を答えました。ご参加くださったみなさんに感謝します。また「典礼奉仕者の手引き」最新版を配布しています。やむを得ず欠席された皆さんは、事務所でご受け取ることができません。取り扱った意見、質問に対する回答も盛り込んで手引きが改定されています。各位で確認をお願いします。

### 典礼奉仕者会全体集会の報告

典礼奉仕者会代表 笠原信明

2013年6月16日 マリア館ホールにて開催いたしました。34名の方に参加していただきました。

#### 議事内容報告

はじめにボクダン神父様より神の礼拝と信徒の教育場としての典礼の講話

(典礼とは。由来。奉献文の歴史。奉献文の内容等)を頂きました。

た。

次に奉仕者からの質問と回答(典礼委員長による)

1. 献金かごの手配、回収

質問 9時半のミサ以外は案内係の方がいらつしやらないため、朗読者が主に献金かごを手元に置いて、手配回収しています。

回答 案内係の方がいっらしゃらない場合は先唱者が主に手配回収を行ってください。

朗読者はそれを補助してください。また献金かごは、あらかじめ手元に持って来ず所定の位置に置いたままにしてください。

2. ミサ前の冷暖房のスイッチについて

質問 30分前に奉仕者の方がスイッチを入れてほしい。

回答 冷暖房のスイッチは、基本的に司式者が担当するが、その確認を先唱者の責任でお願いいたします。(時間は適宜)

3. ミサ開催中の遅れて来た方の誘導について

質問 座席への誘導するタイムイングをはかって誘導してほしい。

(たとえば朗読中を避け、終

わったころに誘導)

回答 タイミングを計ることは重要ですが、聖変化の時は動かないことがよいと思います。

4. ミサ後の照明消灯について

質問 聖歌隊の9時半ミサ後に練習するため消灯しないでほしい。

回答 香部屋のスイッチ付近に、消さないようにコメントを表示します。

また、練習の兼ね合いもあり聖歌隊が最後まで聖堂に残ることになるので消灯の確認を聖歌隊の責任で行ってください。

5. パイプオルガンのメンテナンスについて

質問 音の不安定な部分があり、随時メンテナンスが必要な状況。大きな工事ではなく、小規模なメンテナンスを繰り返すことで、末長くパイプオルガンを維持出来ます。

そのメンテナンスの方法、費用等ご検討を典礼奉仕者会にお願いします。

回答 典礼奉仕者会の継続検討事案として受け、典礼委員会にて協議する。

費用等の発生することが予測される場合は典礼委員会より運営

委員会に上程します。

質問とその回答は以上です。

典礼奉仕者の手引きを配布 それについて、典礼委員会委員長より説明されました。

また、ボクダン神父様より地震発生時の案内について文書を配布、説明されました。

最後になりましたが、南山教会のすべての皆さまの日頃のご奉仕とご努力に深く感謝を申し上げます。

## カトリック南山教会の

### 売店および事務所の業務時間

月曜日から木曜日まで： 午前9時～12時30分  
午後1時30分～5時

金曜日と土曜日： 午前9時～午後6時

日曜日： 午前9時～午後5時

祝日は休みです

(但し、国の祝日が教会の祭日と重なる場合、通常通り業務を行い、その翌日が休みとなります。)

## 2013年度信者全体集会議事録

2013年6月30日11時～12時  
於マリア館ホール

### 主任司祭あいさつ

ボクダン師  
共同体の目的は、信徒の交わり  
や祈りなどによって互いに支え合  
うこと、信仰を伝えること。

教会で出会う多くの方は誰か分  
かるが、まだ知らない方も少なく  
ない。そのような方の中には素晴  
らしい信仰をもっている人もおら  
れる。

知らないところで奉仕いただい  
ている方のおかげで南山教会が支  
えられている。

ほかの教会から南山教会が生き  
生きしているとのよい評判をいた  
だいている。

7月から信仰を支える2名の助  
任が増える。マーティン師とフツ  
ク師。

教会の実態は目に見えるものだ  
けではないが数字で見えてみるこ  
とにする。

平均年齢50歳  
教会を維持献金は近年順調であ  
る。維持献金は350世帯ほど、  
信徒全体の25%ほどからいただ  
いている。

納骨堂建設は申し込み状況をみ

ると大正解。信仰の証でもある。  
他教会の申し込みも受け付けてお  
り弱い教会への責任も果たしてい  
る。

### 運営委員長あいさつ

泉運営委員長  
運営委員会の発足からこれまで  
の歩みを発表。

ご意見・ご質問へのお答え  
売店の休み  
ご意見通り国と教会の祝日が重  
なる時は前もって案内したうえで

開店するようにする。ただし17時  
まで。代わりに翌月曜日は休みと  
する。

12時から13時まで休憩となつて  
いるが、実際には休みを取れてい  
ない。

試験的に2人の職員の勤務時間  
をつなげて9時から17時まで継続  
開店する。

来年4月1名退職なのでその後  
はまだ分からない。

### 小聖堂のクーラー

音がうるさいのは事実。

新しいクーラー購入は70～80万  
円かかる。家庭用2台なら20万  
くらいか。

予算計上していないので財務委  
員会と検討していく。値段の高い  
夏場は我慢して安い時に買うのも  
一案。

その他

ご意見なし

### 広報活動について

松田広報委員長

3つの活動

月報の発行

600部

協力者を募集したい。

ホームページ

ボクダン師におまかせ。

(ボクダン師より協力者募集

要請あり)

ミニバチカン展の開催

昨年は長崎・奄美大島・札幌

で開催。

7月20・21日神奈川・鷺沼教

会で開催予定。

### 財務委員会より

伊藤財務委員長

2012年度決算報告 詳細

は本会計月報で報告済み。21

9万円の黒字。

事業会計(売店) 27・6万

円の黒字

特別会計(納骨堂) 3月末で

2475万円。順調に申し込

みをいただいているがあと20

件あれば建設予算を見込める。

大聖堂の改修にあと2000

万円ほど足りない。集めるため

のアイデアがいただければあり

がたい。

### 典礼委員会より

新内典礼委員長

16日典礼奉仕者全体集会開

催。詳細は7月の月報に掲載。

お伝えしたいこと

ミサ後の聖歌全体練習にもつ

と参加していただきたい。

ミサ後に聖堂内での私語は謹

んでいただきたい。

堂内では静かに過ごしてほし

い。



運営委員会規約で典礼委員長の任期3年、再選可、3選はだめとなっている。次の委員長候補者を探している。ご紹介を。

### 宮繕委員会より

酒井宮繕委員長

設置から3年。2年前65件、昨年45件の改修等に携わった。昨年は聖堂とカトリック会館屋上防水補修、カトリック会館窓枠塗装、中庭水道水漏れ修理など。

今年は大聖堂入り口横水道管水漏れの工事があった。

大聖堂・カトリック会館が築後50年になり、数年後の大規模補修を控えている。それまでは応急補修で対応したい。自分たちでできることは自分たちでやる。

工事の半分は人件費。皆の奉仕で支出の大部分は抑えられる。

完全に壊れてからの補修には多額の費用がかかる。早い段階では少なく済むので皆様から報告を遠慮なく申し出てくださ

### 納骨堂建設に関する現状について

納骨堂建設委員会(酒井さん)

昨年1年かけて建設委員会での検討の結果、市の許可を取り付け工事開始となった。

工事進捗は大聖堂掲示板に掲

載している。駐車スペースの減少があり公共交通機関・有料駐車場の利用をお願いしたい。現在第2期募集中。

これまで約220組の申し込みがあった。内訳は南山教会150組と他教会70組。

教区ニュースに3回掲載いただき、現在他教会の申し込みがほとんど。

第3期8月からはカトリック新聞に募集掲載して全国の愛知県にゆかりのある方への募集を図る。

### 納骨堂管理委員会新設による運営委員会規約改訂について

泉運営委員長

規約変更店を説明し、参加信徒全員の拍手で賛同を得た。

### 今年度教会バザーの準備状況

小塚バザー実行委員長

今年からヨセフ会の班の持ち回り。今年は1班小塚委員長。

6月23日第1回バザー実行委員会開催、7月21日第2回実行委員会開催、バザーのテーマと委員会メンバーの募集中との発表があった。

### 質疑応答

教会の鐘がよく鳴るようになって、ありがたい。バザーの出し物を今から考えてほしい。

## 教会学校潮干狩り

6月23日



### カトリック教会のカテキズムより

1380キリストがこの比類のないしかたで教会につね

に現存することを望まれたのは、まったく当然のことです。キリストは、目に見える姿では弟子たちから去られましたが、わたしたちのもとに秘跡的に現存することをお望みになりました。また、わたしたちの救いのために十字架上でご自分をささげらるにあたり、ご自分のいのちを捨てるまでにわたしたちを「この上なく愛し抜かれ」(ヨハネ13,1)、その愛を思い起こさせる形見をわたしたちに残そうと望まれました。キリストは、わたしたちを愛し、わたしたちのために身をささげられたかたとして、エウカリスチアによる現存という形をとって、その愛を表し共有するしるしのもとで、わたしたちの間に神秘的にとどまっておられるのです。

「教会と世界は聖体の礼拝を大いに必要としています。わたしたちは、信仰にあふれた礼拝と観想において、世界の大きな過ちと罪を償う心構えで、イエスに出会うためには時間を、惜しんではなりません。わたしたちのこの礼拝が、決して途絶えることがありませんように」。(ヨハネ・パウロII世)



## 第4回運営委員会

2013年7月7日

司祭団より

助任司祭の紹介 フック師

マーティン師

司祭の夏休み期間は？

ボグダン師 8月18日～25日

アントニー師 8月4日～11日

マーティン師 8月26日～9月1日

### 報告事項

典礼奉仕者全体集会について

6月16日開催。34名の出席。

4～5個の審議事項があった。

記録は月報内に別途掲載。

信者全体集会について

6月30日開催。63名の出席。

ここ数年で一番多い出席数だった。各委員会からの報告があり、

参加者には各方面の動きがご理解頂けたと思う。

教会事務所がお昼に閉まってしまふことへの対策として、日曜日は11時～12時まで小林さんが休み、山森さんが一人で対応し、12時から小林さんが対応するシフトを組む。

祝日が教会の祭りと重なる場合は、当日は営業し、翌日が振替休日となるようにする。

納骨堂申し込み状況と建設の進捗状況について

納骨堂申込み↓第2期を申込み受付中。現状は他教会からの申込みがほとんど。  
第3期申込みを8月から募集し、カトリック新聞にも広告を載せる。

工事進捗・建築部分を掘削している状態。平日はダンプも多く出入りしており、控室付近の駐車場が使用できない。行事等で駐車場が足りなければ中庭の使用も検討する。

杉本組との定例会議を7月4日(木)に開催。予定より3～4日遅れているが、1週間程度で取り戻せる見通し。

納骨堂の申込みは現状水曜日と土曜日の13時30分から16時まで、1日に1～2組対応している。8月からの第3期は事務所受付けけるようにしていく。

平和の祈りについて

8月6日は8時、9日は10時のミサ後に平和の祈りを開催。

城東ブロックの集いについて

9月22日(日)に平針教会にてムンシ神父を招いて集いを開催予定。

AED(自動体外式除細動器)設置の検討状況について

3社のAEDを検討し、セコムAED2100に決定。  
AEDは香部屋に設置。

カトリック南山教会大聖堂の登録地域建造物資産への登録について

建築後50年を経過した建物名古屋市の担当者から登録地域建造物資産の登録の打診があり、補助などは無いので制約も無い。市のホームページに写真などが載る等。登録することに決定。

審議事項

今年度バザーについて

テーマ案は3件の応募があった。内2件を踏まえて、司祭団にて7月21日のバザー実行委員会までに確定する。

出店調査については、今までに

出店されている方々の出店がほとんど。新規募集は場所の空きがあれば募集するが、流動的。(セカンドハーベストは出店確定。マックは今出店しない)

アトラクションは、ガーナの踊りとボーイの踊りを開催。

バザーの収益は、例年南山教会外に寄付していたが、南山教会の財政を考えても必要な時を考えて

確保すべき。しかし、過去に司祭館を建てた時にもめたが協議して建築費にあてたこともある。

↓バザー実行委員会で収益金の処理について説明、検討してもらう。

救急法講習会について  
7月28日開催予定。  
講習会案内は、既に聖堂内掲示板に掲示済み。  
講師は2名、参加見込みは50名程度。

昨年の講習に加え、骨折時の救急対応、転ばない歩き方・歩きやすい靴を追加。

内容については、追加の要望を受付け可能。

現在は11名程度の申込みあり。当日まで受付ける予定。

避難訓練について

8月25日開催予定

昨年同様の内容にて開催予定。

7月度の班長会議にて役割などを確定。

工事の関係で駐車場の避難場所を例年とは変更する。

敬老会について

9月15日

昨年同様、お弁当とお茶とお吸い物を用意。

案内発送の時期は8月10日頃までに発送し、8月末までに返送いただく。

余興や人数については、9月1日の運営委員会にて最終確認予定。

### パイプオルガンの状態と修理の提案について

典礼奉仕者全体集会にて出た議題。オルガニストからの総意として典礼委員会に投げかけられた。

パイプオルガンの状態が非常に悪いので、早急に修理をおねがいしたい。

内容、費用については典礼委員会にて検討する。

修理の有無の前に、しっかりと見積もりを出してもらい検討しないと、修理費用の是非が問えない。

まずもって、南山教会にパイプオルガンが必要なのか。現状はイメージの話が多い。維持費を算出し資金計画を立てた方がよい。毎年オルガン用の予算は計上されているのに使用されていない。オルガニストから具体的に費用などを計上してほしい。

オルガンを維持する方向で考えてほしく、その時その時の総意で簡単に決めてほしくない。

過去にあったオルガン委員会を設置し、そこで検討する。

運営委員会規約改定の審議について

前回委員会及び信者全体集会を踏まえ、規約の検討を経て承認を願いたい

納骨堂管理委員会が入ることを踏まえ配布資料のとおり変更することの承認を諮る。↓承認

### その他

中庭や司祭館前の歩道沿いに土止めが無く土や石が落ちてくる、側溝の蓋が無く子供が軽い怪我をした等問題が起こっている。配布資料の見積もりで司祭館の前の歩道沿いは司祭館に負担していただけのことなので残りの中庭部分の合計で233100円かかります。↓承認された。

### 各会報告

#### 典礼委員会

6月16日典礼奉仕者全体集会。

8月6日平和の祈り 8時

大聖堂ミサ

8月9日平和の祈り 10時

大聖堂ミサ、終了後聖体賛美式

8月18日聖母の被昇天につき、

9時30分ミサ後に聖母行列

### マリア会

東日本大震災の復興支援のための7月ミニバザーでは63250円の収益がありました。

### 青年会

7月14日16時から行う。

青年会8月中は松浦友助君になにかあれば言ってください

### 教会学校

6月2日初聖体(13名の子供)

6月23日知多半島(潮干狩り)

8月23日(25日)夏季キャンプ

長野県カトリック伊那教会にて

### ボーイスカウト

スカウトバザー大成功

下の写真はバザーのようす

ボーイスカウト97団は、去る6月9日(日)に、毎年恒例のスカウトバザーを開催。教会信者の皆様のご援助で、多くの寄付物品が集まり、おかげさまで純益は約45万円となり、大成功。皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

### 第16回日本ジャンボリー

スカウト4名、リーダー2名

参加予定。7月31日(水)〜8

月8日(木)。山口県山口市阿

知須・きらら浜

### 夏期野舎営訓練

8月11日(日)〜13日(火)

「長野県松川青年の家」長野県

下伊那郡松川長大島



## 南山教会の各会と団体の担当司祭表

| 会と団体     | 担当司祭                       | 会と団体      | 担当司祭        |
|----------|----------------------------|-----------|-------------|
| 運営委員会    | ボクダン師 (アントニー師、フック師、マーティン師) | 中高生会      | アントニー師      |
| 典礼委員会    | ボクダン師                      | 中高生保護者会   | アントニー師      |
| 侍者       | フック師                       | 青年会       | マーティン師      |
| 聖歌隊      | マーティン師                     | レジオ・マリエ   | フック師、アントニー師 |
| 典礼奉仕者会   | ボクダン師                      | 大樹の会      | アントニー師      |
| 広報委員会    | ボクダン師                      | 英語ミサのグループ | ケレハ師        |
| 財務委員会    | ボクダン師                      | 手話の会      | アントニー師      |
| ヨセフ会     | ボクダン師                      | 要約筆記者の会   | アントニー師      |
| マリア会     | ボクダン師                      | ボーイ・スカウト  | マーティン師      |
| 子ども部屋    | 司祭団                        | 聖ラザロ村友の会  | マーティン師      |
| 教会学校     | フック師                       | 四木会       | 司祭団         |
| 教会学校保護者会 | フック師                       | カナの会      | フック師        |
|          |                            | 納骨堂管理委員会  | ボクダン師       |

## 納骨堂の建設工事が始まりました



樹木伐採・アスファルト撤去

掘削・土搬出掘

H鋼土留め



掘削捨

# 南山句会

平成二十五年六月五日



白猫を背に文豪の夏羽織  
花菖蒲夕風となり身に纏ふ

我が暮らしまこと平凡茄子の花  
大地より薫風といふを賜ひけり

神様と仰ぎ見る空新樹光  
わずかにも早や風鈴の響きをり

たかんなのひつそり伸びる寺苑かな  
鈴蘭の花束そつと抱きたり

花菖蒲水面の揺るる静寂かな  
話題の書斜め読みする夕薄暑

母の日に届く鉢植ゑくれなゐに  
蔦若葉三階までを攻めにけり

過ぎし日のライン聖堂や昇天祭  
クルスなす十葉の花いとほしき

義子

牧子

美智子

紀子

瑞子

とく子

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半

マリア館二階集會室

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

ヨハネ 宮崎 尋  
マリア 徳永 花凜  
フランスコ・マルチ 恒吉 蒼羽

### 結婚

♡ お幸せに♡

野口 誠 ♡ マリア 吉浦あゆみ

### 帰天

ご冥福をお祈りいたします

ホウカ 今川眞太郎 (74歳)

### 転出

いつまでもお元気で

マリア・インマクラータ 小林 アヤ (岡山教会)

### 転入

ようこそ

マリア・カタリ 望月千賀子 (瀬田教会)  
アンナ 徳永 美咲 (たかとり教会)

### 教会維持費

6月は1,400,500円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りいたします。

## 2013年7月・8月行事予定表

|    | 教会典礼歴                   | 南山教会行事   | 各会活動  | 教区行事・その他                                  |
|----|-------------------------|--|---|---|
| 7月 |                         | 28日(日)救急講習会  | 5(金)マリア会例会(懇談会)<br>7(日)運営委員会<br>14(日)典礼委員会<br>14(日)ヨセフ会班長会<br>20(土)10:30子ども部屋<br>21(日)教会学校・中高生会終業式<br>27(土)要約筆記付きミサ | 7(日)司教叙階・金銀祝<br>18(木)司祭協議会<br>21(日)障害者の集い |
| 8月 | 6(火)主の変容<br>15(木)聖母の被昇天 | 6(火)平和の祈り(8:00ミサ)<br>9(金)平和の祈り(10:00ミサ・聖体礼拝)<br>18(日)聖母被昇天祭(聖母行列)<br>25(日)避難訓練 | 24(土)要約筆記付きミサ   | 4(日)~6(火)侍者会(神言神学院)<br>5(月)~14(水)平和旬間     |